

一般社団法人飯田青年会議所 広報誌



未来 1月号
2024.1
vol.64 No.687

未来

編集責任者

事務局長

池田 慎太郎

一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町 41 番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail:info@iidajc.com
URL http://www.iidajc.com

2024年度 スローガン：絆をつむぐ ～眠れる同志を呼び起こせ～

謹賀新年



専務理事
小島昭平

副理事長
本田貴久

副理事長
渡邊祐輝

事務局長
池田慎太郎

監事
小林大悟

第六十四代理事長
村松将太

直前理事長
久保田大樹

外部監事
永井洋平



本年もよろしくお願ひ致します



HP

LINE



Facebook

Instagram



1月例会

事務局次長
吉岡慎太郎



去る、一月九日、第六十四代村松将太理事長の下、一般社団法人飯田青年会議所の2024年度の活動が幕を

開け、多くのメンバーが参加する中、1月例会が開催されました。久保田大樹直前理事長から村松将太理事長への理事長バツジの引継ぎが行われ、村松将太理事長の所信表明によりメンバーの士気が高まり、一体感を高めました。LOM役員、委員長、出向者の決意表明が行われ活動へ各々の意気込みを述べメンバーに共有しました。

本年度、村松将太理事長の掲げるスローガンは「絆を紡ぐ〜眠れる同志を呼び起こせ〜」です。飯田青年会議所は創設以来素晴らしい活動を生み出し続けて、このまちのために活動していく中で仲間が増えて然るべきですが、現状はそうではありません。そこで本年度はまちづくりや青少年活動は当然として、それが会員拡大を伴う活動となるために仕組み作り挑戦していきます。そして本例会では新たに六名の新入会員が同志に加わり、決意表明も行われました。このスローガンを下に、我々飯田青年会議所は今年一年間、一生懸命活動をして眠れる同志を呼び起こしていきます。皆様には様々な場面でお世話になる事かと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど

新年会

個性昇華委員会
副委員長
中村充花



1月9日にシルクホテルにて新年会が開催されました。行政関係の皆様をはじめ、友好

団体の皆様、賛助会員の皆様、歴代理事長の皆様、北信越地区協議会の皆様、豊橋・浜松LOMメンバーの皆様など、数多くのご来賓の皆様にご出席頂き、盛大な新年会となりました。そして、飯田青年会議所新会員の私にとっては初めての新年会となりました。日頃は現役メンバーで活動しておりますが新年会にご出席下さった多くの方にお会いし改めて沢山の方々を支えられ、応援して頂きながら活動が出来ているということを感じました。感謝申し上げます。

ご来賓の皆様からも熱いメッセージを頂戴しメンバー同今後の活動に対してより一層、熱心に取り組む覚悟ができたのではないかと思います。また、青年会議所を卒業しても現役メンバーを支えて下さっているOBの方々とも交流させて頂き貴重な時間を過ごさせて頂きました。



年頭所感

第六十四代 理事長
村松将太



これからも地域の皆様や、支え応援してくださっている皆様へ飯田青年会議所としてすべき事をし、活き活きとした視点や思考を常に持ちながら、村松理事長の掲げる「飯田JCここにあり」を履行し存在感をきちんと示せるよう精進いたします。新年会で経験させて頂いた沢山の方々のお話やメッセージを二年間しっかりやり遂げる気持ちで邁進してまいります。

新年おめでとうございます。2024年度一般社団法人飯田青年会議所第64代理事長の職をお預かりいたします。村松将太と申します。まずは、2023年度の我々の活動に多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

本年度は、「絆をつむぐ〜眠れる同志を呼び起こせ〜」をスローガンに掲げ、「未来へ繋ぐ」編、「まちづくりの想い」編、「青少年育成への情熱」編、「飯田JCここにあり」編の4編の活動を通じて、65周年、さらにその先の未来へ繋ぐため、「飯田青年会議所本来の活動を通じて自然とメンバーが増える組織作り」へと挑戦いたします。我々の地域への想いや情熱、情報等を活動を通じて南信州地域の青年に対して多く示すことにより仲間を増やすことへの挑戦となりますので、まずは、多くの皆様

飯田青年会議所の活動を知っていただくこと、さらに実際に活動に参加していただくことが非常に重要であると考えております。そのためには、飯田青年会議所OBの皆様、この地域の皆様のご協力無くしては困難かと思えます。皆様の身近に飯田青年会議所の活動に少しでも興味のある方がいらっしゃれば是非ご紹介いただきたくお願い申し上げます。

さらに、本年度は16年ぶりに長野ブロック協議会主催のブロック大会を飯田青年会議所にて主催いたします。こちらにつきましても、OBの皆様には多大なるご協力をいただくことなると思われますのでメンバーがご協力をお願いに上がりました是非ともよろしくお願いたします。飯田青年会議所が未来永劫、青年にとっての最高の学び舎であるとともに明るい豊かな南信州を実現できる組織となるべく1年間邁進して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

年頭所感

直前理事長
久保田大樹



あけましておめでとうございます。2024年度直前理事長を務めさせて頂きまず、久保田大樹と申



します。旧年中は皆様に多大なるご支援、ご協力頂き誠にありがとうございました。本年は村松理事長のもと、「絆をつむぐ」をスローガンに掲げ、メンバー同一一致団結し、更なる飛躍を追い求めて邁進していきたいと思えます。本年もスローガンにあるように会員の増員を大目標として掲げています。近年では会社の経営者やそれに準ずる立場以外の方でも、まちづくりや青少年事業に大きく興味を持つ若者がこの青年会議所の事業に参加してくれています。ここに乗じて企業の働き方も変化してきている時代になっていくことで、色々な立場の方がこの青年会議所で活躍できるようなっているのではないかと感じています。青年経済人として一番の学び舎であるこの青年会議所に一人でも多くの人材を預けて頂けるよう、魅力ある組織を作っていきたいと思えますので。本年も何卒ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



年頭所感
副理事長
渡邊 祐輝

心躍る南信州室

新年あけましておめでとうございます。2024年度、心躍る南信州室の副理事長を務めさせていただきます。当室では、青少年事業と会員拡大の二つの要素を兼ねて行い、南信州の多くの人が参加できる魅力的な事業を展開することで、南信州の人々の心を躍らせるための活動をおこなってまいります。

す。アフターコロナへの転換に伴い、様々な活動が活発になっている世の中で、飯田青年会議所も毎年大きな事業をこの南信州で展開しています。そして今年度においても、青少年事業をこのまちの多くの青年たちと共にこない、我々の魅力を南信州の人々に伝えます。そして、本年度村松将太理事長が掲げる「絆をつむぐ」のスローガンを実現するため、また、光り輝く南信州の未来を我々が作っていくため、室を上げて邁進していく所存です。

前年度に引き続き副理事長という重大な役割を任せていただいたことに感謝し、精一杯務めてまいります。長野ブロック大会が南信州で行われることも踏まえ、本年度も多くの方にお力を貸していただくことになるかと思いますが、何卒1年間宜しくお願いいたします。



年頭所感
副理事長
本田 貴久

WAKE UP 室

明けましておめでとうございます。2024年度、WAKE UP 室の副理事長を務めさせていただきます。本田貴久と申します。当室では、地域の人の共感が集まるまちづくり事業を行うことで、南信州地域の眠れる同志を呼び起こす活動を行います。南信州地域の現状として、地域活動から離れている青年が増加傾向にあると痛感しています。これは、人口減少という直接的な原因もありますが、誰かがやってくれるだろう。

そんな考えの連鎖が、この状況を生み出している根本の原因であると考えます。私たちが暮らす地域の未来をつくっていくのは、他の誰でも無く私たち自身です。私もやってみよう。と人々が思い、実際に行動に移すことができるまちづくり活動が求められていると考えます。その為に今年度の活動では、地域の青年たちの共感を得る為に、分かりやすく、興味を引くような活動を行うことを常に心がけ、地域活動の魅力を多くの青年達に伝えていく活動をして参ります。

副理事長という重大な役割をいただいたことに感謝し、精一杯務めて参る所存です。多大なるご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



年頭所感
外部監事
永井 洋平

外部監事

新年あけましておめでとうございます。同期として入会した村松理事長の力になりたいと、外部監事の役を仰せつかりました。理事長の掲げた「絆をつむぐ」というスローガンのもと、JC活動の価値が広く正しく認識されるよう努めてまいります。飯田JCには、63年のあいだ脈々と引き継がれている良き文化があります。一方で、現代の青年世代が描く構想もあり、それが文化を軽んじているように見えることがあるかもしれませんが、軽率な判断をせず、

リスペクトとディスカッションを持って進めていく一助になることが外部監事の役目と考えます。そして、応援してください。皆様からのご理解を得ながら、主役である現役世代が一丸となって更なる価値を創造していけるよう、微力ながら尽力してまいります。1年間、何卒よろしくお願い申し上げます。



年頭所感
監事
小林 大悟

監事

本年度、監事の役職を務めさせていただきました。小林と申します。昨年は直前理事長として多くの皆様にご協力を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。今年度は新たな立場で、村松理事長の掲げるスローガン「絆をつむぐ」眠れる同志を呼び起こせよのもと、全ての事業を成功させるために活動してまいります。近年の飯田青年会議所はメンバー数が増加しており、様々な事業を積極的に展開しています。これは、コロナ禍でも歩みを止めることなく、活動を継続してきた結果であると思えます。2024年度はこの流れをさらに加速させ、地域も組織も、より発展させることができるように精進いたします。そのためには、まず監事として客観的な立場を守り、職務を全うする所存です。地域の皆様には、本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

年頭所感

専務理事
小島 昭平



新年おめでとうござ
います。本年度村松理
事長のもと、専務理事
の職を務めさせていた
だく小島昭平と申しま
す。旧年中は多くの皆様より多大なご高配
を賜り、無事活動を終えることが出来まし
た。改めて厚く御礼申し上げます。

本年は、村松理事長の掲げる「絆をつむ
ぐ〜眠れる同志を呼び起こせ〜」の熱い想
いのもとで、全メンバーが想いをひとつに
全力で活動を行えるよう、迅速な対応と円
滑な運営を図る立場にあります。また他団
体との連携窓口としての役割もございま
す。組織運営、対外連携ともに欠かすこと
のできない重要な役割であり、組織・メン
バーの士気にも直結する部分でありますの
で、組織のため一年間全力で職を全ういた
します。

至らぬ点多々あるかと思いますが、皆様
には本年も変わらぬご愛顧賜れるよう活動
して参ります。宜しくお願い申し上げます。

年頭所感

24 To For 委員長
今井 健太



今年度、24 To For
委員会の委員
長を担当いたします。
今井健太と申します。
今年度、当委員会

は「T o m e」から「F o r y o u」へ、

自分のためだけでなく誰かのためにとい
うテーマで一年間活動していきたくと思っ
ております。自分のための行動が誰かのた
めとなり、誰かのための行動が結果的に自
分のためになる。そんなサイクルを作り、
青少年達に背中を語れるリーダーのような
委員会を目指しております。委員会名の由
来は、「T e a m」の頭文字の「T o」と「F o r」、
尚且つ2024年とかけ「24 To For」、
まだ入会して1年2ヶ月と歴も浅いです。
ですが、歴の浅さを言い訳にせず諸先輩方
に指導をいただきながら頑張りたいと思
います。事業に関して言えば、コロナ禍以降
の出場者数が減少してしまっただけでなく
の連携を密にとり、お互い助け合いながら
運営できればと思います。今年度は飯田がわ
んぱく相撲の県大会の主管LOMとなりま
すので尚更盛り上げたいと思います。会員
拡大に関しては、第三者の方々が飯田青年
会議所に関する第一歩としての窓口のよう
な委員会になるために参加して楽しい、ま
た参加したいと思える事業、例会作りを心
がけたいと思います。委員会一同飯田青年
会議所の元氣印となるよう頑張ってい
ます。よろしくお願ひ致します。



年頭所感

FIRST STEP 委員会
委員長
藤本 直樹



新年おめでとうござ
います。2024年度
村松理事長の下で
FIRST STEP 委
員会の委員長を務めさ
せていただきます藤本直樹と申します。入会
間もない身でありながら、このような貴重な
機会と大役を仰せつかりましたことに感謝
し、私の持てる限りの熱と時間を一般社団法
人飯田青年会議所へ投下する所存です。

本年度、村松理事長の掲げるスローガン
「絆をつむぐ〜眠れる同志を呼び起こせ〜」に
込められた想いを実現させるため、当委員
会名をFIRST STEP II はじめの一步
とさせていただきます。当委員会では、
コロナ禍が終息期を迎え以前の生活が戻り
始めた今だからこそ、当地域に来る転機を
チャンスに変えるために、飯田焼肉などの
親しみやすく共感を得やすい地域文化を用
いることで、多くの青年達に地域活動に参
加してもらい、まちづくりの一步を導きま
す。

この1年間、経験豊富なメンバーの力を
お借りしながら飯田青年会議所の更なる発
展に寄与できるよう、また、各々の成長に
コミット出来るよう一生懸命に臨ませてい
たきます。何卒よろしくお願ひ申し上げ
ます。



年頭所感

個性昇華委員会
委員長
佐々木 大地



新年度を迎え、我々
飯田JCは誇りをもっ
て創設64年目に突入し
ました。これまでの歴
史の中で、このまちへ
の貢献に尽力してきました。しかし、新たな
時代の変化やSNSの台頭により、我々の価
値や魅力が不足していると感じています。

今年度、私たちは組織の強化と繋がりを重
要視し、新たな一步を踏み出します。まず、
メンバー自身が飯田JCの本質を理解し、誇
りを持つことから始め、歴史や成果に触れる
事で組織への熱い情熱を再燃させます。情報
発信はSNSを活用し、魅力的なコンテンツ
を提供して地域の人々と繋がりを深めます。
また、対面イベントやブロック大会を通じて
直接コミュニケーションを図り、組織の存在
感を高める機会を増やします。新たなメン
バーの募集も積極的に行い、飯田JCの理念
と価値を共有できる仲間を見つけ出します。
地域への貢献活動を通じて、我々の存在をよ
り多くの人々に知ってもらいます。

この新年度、私たちは飯田JCの価値と魅
力を再評価し、地域への貢献を続ける使命を
果たすために力を合わせます。組織としての
誇りを胸に、新たな一步を踏み出し、地域の
発展に貢献し続ける覚悟です。

